



【さんぺい武後援会ニュース】

未来へとどけ！  
エコシティ  
ひたちなか

発行 NO.64

発行月：2024年7月

発行者：さんぺい武後援会

住所：ひたちなか市毛1077

電話：029-273-6826

## 6月定例議会

令和6年度第2回ひたちなか市議会6月定例議会が6月13日から15日間にわたり開催されました。本定例議会では、令和6年度公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社事業計画及び予算についてや令和5年度ひたちなか市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてなど、22件の報告案件を市長から説明を受けて採決しました。議案では、令和6年度ひたちなか市一般会計補正予算(第1号)、ひたちなか市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正、ひたちなか市集会施設設置及び管理条例の一部改正、津田小学校給食備品購入売買契約の締結についてなど、10件を審議し、全案件を原案の通り可決成立しました。

今回は、6月19日に登壇した一般質問の内容とその他トピックスについて報告します。



### 一般質問の主な項目と質問・答弁内容(抜粋)

#### ～質問項目～

#### 1. 企業誘致について

- (1) 企業誘致とまちづくりについて
- (2) 工業団地の整備状況について
- (3) 企業誘致の取組みについて
- (4) インフラ整備について

#### 2. 防災について

- (1) 能登半島地震からの教訓と対応について
- (2) 避難所運営訓練について
- (3) 避難所運営のデジタル化について
- (4) 福祉避難所について
- (5) 市総合防災訓練について

#### 3. ヤングケアラーについて

- (1) ヤングケアラーの実態について
- (2) ヤングケアラーの支援体制について

#### 4. 暑さ対策について

- (1) 熱中症対策について
- (2) クーリングシェルターの設置について

#### ～質問・答弁内容(抜粋)～

#### 【企業誘致について】

**質問** これからの人口減少対策のひとつは雇用の場を創出することである。人口減少対策と企業誘致について市長の考えを伺う。

**答弁** 本市では、将来に渡って活力を維持し、持続的に発展していくため「職住育近接」のまちづくりに取り組んでいます。県による大規模な工業用地の整備、企業誘致により、雇用創出や税収の確保、住宅需要の喚起など地域活性化が図られるものと期待しています。本市としても、企業立地セミナー等において立地優位性に関するPRを行っているところであり、引き続き、県と連携し企業誘



致に努め、企業進出による波及効果を最大限に活かし、魅力あるまちづくりを推進します。

**質問** 工業団地造成後の工業用水確保、上下水道の整備状況、周辺の交通渋滞対策などインフラ整備について伺う。

**答弁** 平成元年から県の都市計画事業として「常陸那珂土地区画整理事業」及び「常陸那珂工業団地造成事業」が施行され、道路や上下水道及び工業用水、電力など、基本的なインフラは整備されています。しかし、県が誘致目標とする先端産業の企業が立地する場合、不足することも想定されるので、県と連携を密にしていきます。交通渋滞については、現在、朝夕の出勤時間帯に渋滞が複数地点で見受けられており、詳細な状況調査を行うなど、現状把握に取り組めます。

#### 【防災について】

**質問** 冬の避難所訓練の実施と避難所運営マニュアル対応、備蓄品の状況について伺う。

**答弁** 本市では、学校が夏休み期間で施設が利用し易い8月末に総合防災訓練を実施しています。しかし、災害はいつ起こるか分からないことから、気候に応じた対応が求められます。避難所運営訓練の実施時期については、自主防災会と意見交換を行いながら検討します。

また、寒さ対策の備蓄品は、毛布やアルミシートのほか、カイロを備蓄しており、ストーブ等の資機材は指定避難所の備え付けのものを使用することになっています。マニュアルについては、季節に用いる扇風機やストーブ等の資機材等の対応は明記していませんが、今後、実情に即したマニュアルになるよう適宜見直しを図ります。

**質問** 東日本大震災後の総合防災訓練の評価と課題について伺う。

**答弁** 本市では、東日本大震災の教訓を踏まえて、自主防災会等と協働による防災訓練を市内一斉に行っています。訓練においては、各自主防災会が避難所等への避難や災害時要支援者の安否確認などの計画を作成し、実践的な訓練を実施しています。また、訓練終了後には、各自主防災会を一堂に会し

た意見交換会を開催し、訓練の振り返りや防災に関する知識等を提供し研鑽する機会を設けています。

しかし、防災意識の薄れやコロナ禍による絆の醸成機会の減少、会員の高齢化などの要因から、訓練参加者の固定化が見受けられており、課題として受けとめています。今後は、地域の防災力の更なる強化を図るため、自主防災会との連携を密にし、より実践的な訓練に取組みます。

【ヤングケアラーについて】

質問 学校におけるヤングケアラーの実態把握の現状について伺う

答弁 学校では学級担任や教科担当を中心とした日々の観察や月一回のアンケート調査を通して、いじめやヤングケアラーなど、児童生徒が困りごとを抱えていないかの発見に努めており、場合によってはスクールカウンセラーにつないでいます。また、各学校で開設している構内オンライン相談窓口にも相談があり、これらの取組みをとおり、市内小中学校には、ヤングケアラーと疑われる児童生徒が数人いると捉えています。

学校がヤングケアラーを発見した際には、必要な支援を受けられるよう、子ども未来課に情報を提供し、医療や介護、福祉等の支援に対応できるようにしています。本市では、学校が児童生徒の日々の観察に努め、声かけを行う等、声なき声に気づいて、ヤングケアラーが早期発見できるよう努めます。

【暑さ対策について】

質問 指定暑熱避難施設として指定した、クーリングシェルターの今後の設置について伺う

答弁 クーリングシェルターは、危険な暑さから身を守るために一時的に避難をすることができる施設で、市町村長が指定できることになっています。現在、「ヘルスケアセンター」及び「那珂湊保健相談センター」の2施設を指定していますが、猛暑が予想される夏に向けて本庁舎、那珂湊支所、子育て支援・多世代交流施設(ふぁみりこらぼ)、中央図書館などを6月中旬に追加指定します。併せて、地域の施設としてコミュニティセンター等を含め、拡充を図っていきます。また、市内ドラッグストア事業者等、連携協定を締結し、指定していきます。



傍聴いただいた皆さん、ありがとうございました。

トピックス

夏のイベント情報

- 7/13 (土)~15 (月) Lucky Fes2024 : 国営ひたち海浜公園
- 7/13 (土)~8/18 (日) 海水浴場開設 : 阿字ヶ浦、平磯海岸
- 8/10 (土) TEENS ROCK2024 : 市文化会館
- 8/17 (土) ひたちなか祭り花火大会 : 陸上自衛隊勝田駐屯地
- 8/17 (土)~18 (日) ひたちなか祭り : 表町商店街・昭和通り
- 9/ 7 (土) 那珂湊海上花火大会 : 那珂湊漁港
- 9/14 (土)~15 (日)、9/21 (土)~23 (月) ROCK IN JAPAN FESTIVAL in HITACHINAKA : 国営ひたち海浜公園

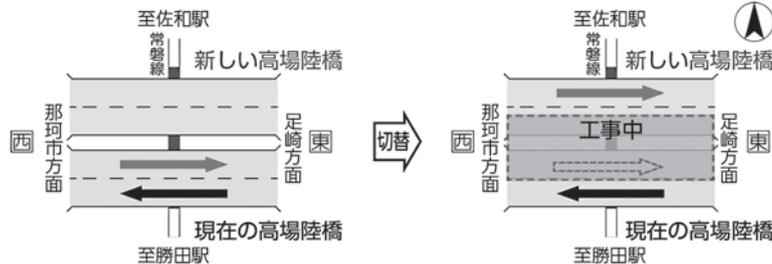
第16回 「さんぺい武」 後援会総会開催

- 1. 日時 7月29日 (月) 17:40~18:20
- 2. 会場 日立労組水戸支部 2階大ホール
- 3. 内容 総会・市政報告

【高場陸橋の走行車線が変わります】

高場陸橋4車線化に向けた工事に伴い、西側的那珂市方面から東の足崎方面に向かう走行車線が、「現在の高場陸橋」から「新しい高場陸橋」に6月28日から切り替わりました。誘導標識に従い、注意してください。

※西に向かう走行車線は変更ありません。



ハーフタイム

最近「日傘男子」という言葉を見聞きするようになりました。日傘は美容や美肌といった紫外線対策として女性が使うイメージでしたが、猛暑などの影響もあり、使う人の裾野が広がっているそうです。☀️専門医師によると、真夏に日光を浴びると頭付近の温度は55度前後にまで上昇するが、日傘を使えば40度ほどに下がるそうです。また、汗の量は帽子より17%も減るそうです。日焼けを気にしないという方も、紫外線に加え体感温度や発汗にも効果があるとなれば使ってみたくはないでしょうか。☀️今年の夏について気象庁は「全国的に気温が高くなり、猛暑日が増える」と予想しており、地球温暖化の影響による高温化は続いています。☀️日傘を選ぶ際のポイントは、運びやすさや折りたたみやすさ、晴雨兼用タイプなど、ライフスタイルに合わせて優先するポイントを決めると選びやすいそうです。ゲリラ豪雨の対策と併せて、かばんや車に忍ばせてみてはいかがでしょうか。